

2016年7月13日

## 平成28年度「海洋安全保障集中講座」受講生募集のご案内

(公財) 日本国際問題研究所

### 1. 趣旨

平成28年度の発展型総合事業「インド太平洋における法の支配の課題と海洋安全保障「カントリー・プロファイル」」では、インド太平洋地域における領土や海域をめぐる法の支配について、国際法上の課題と各国の海洋安全保障政策の比較研究を昨年から実施してきました。研究結果を社会に還元し且つ日本の海洋安全保障研究の人材育成を促進する観点から、昨年に引き続き、「海洋安全保障集中講座」を開講することにいたしました。

従来、大学及び大学院等においては、国際法は法学系科目、地域研究は国際政治・国際関係系科目として区分されてきました。しかし、海洋における法の支配を維持・強化し、望ましい海洋秩序像の浸透を図るためには、国際法及び地域研究、双方の学際的な知識を持った人材育成が肝要です。当研究所では、こうした問題意識の下、新たな人材育成の試みとして国際法及び地域研究双方を内容に盛り込んだ「海洋安全保障講座」を開講し、下記のとおり受講生を募集します。

### 2. 募集要項

- (1) 実施日：2016年8月26日（金）
- (2) 会場：日本国際問題研究所 大会議室：<http://www2.jiia.or.jp/BRIEF/j-map.php>
- (2) 募集人数：30名
- (3) 受講条件：全日参加可能な方（大学生及び大学院生を優先）。
- (4) 参加費：無料（ただし参加にかかる交通費、宿泊費等の費用は受講生の負担となります。）
- (5) 応募方法
  - ①お名前、②ご所属、肩書（学生の場合は大学・学部・専攻等）、③ご住所、④ご連絡先（電話番号、メールアドレス）を、2016年8月8日（月）までに下記宛にEメールにて送付して下さい。応募者多数の場合には先着順とし、結果を8月中旬までにご連絡いたします。なお、お預かりした個人情報、選考および連絡のみに利用し、本人の同意なく他の目的に利用いたしません。
- (6) お問い合わせ・応募メール送付先  
公益財団法人 日本国際問題研究所（担当：花田・下鳥）03-3503-7744  
メール：[seminar0826@jiia.or.jp](mailto:seminar0826@jiia.or.jp)

### 3. 講座概要

- (1) 講義形式：（午前）1時限60分×2回。（午後）90分×3回  
担当講師による講義の後、質疑応答とする（ただし、演習・ディスカッション形式の時間の時間配分は講師による）。
- (2) 注意事項：撮影・録音はご遠慮ください。
- (3) 時間割（都合により、微調整があり得ます。）

9:30- 9:50	主催者挨拶・オリエンテーション（受講者自己紹介）
9:50-10:50	1. 日本の海洋安全保障政策の課題
11:00-12:00	2. 国際法から見た海洋安全保障問題と我が国の領土関連問題
12:00-13:00	ランチ（兼：懇親会）
13:00-14:30	地域研究 各論 3. アジア・太平洋の安全保障環境 4. 中国の海洋進出
14:45-16:15	国際法 各論 5. 各海域における軍艦・公船・船舶の航行に関する国際法 6. 対領空侵犯措置と公海・EEZ 上における防空措置
16:30-18:00	7. 全体討議（ケーススタディ：南シナ海問題） 「仲裁裁判所判断をめぐる国際法と国際政治」
18:00-18:10	両主査による総括

\* 90分講座：30分程度のレクチャー × 2 + 30分質疑

\* 全体討議：南シナ海問題について15分ほど発表（2名）+ 60分議論

#### 4. 講師

1	日本の海洋安全保障政策の課題 小谷 哲男（日本国際問題研究所 主任研究員）
2	国際法から見た海洋安全保障問題と我が国の領土関連問題 中谷 和弘（東京大学大学院法学政治学研究科 教授）
3	アジア・太平洋の安全保障環境 菊池 努（青山学院大学国際政治経済学部 教授/日本国際問題研究所 客員研究員）
4	中国の海洋進出 土屋 貴裕（慶応義塾大学 SFC 研究所 上席研究員）
5	各海域における軍艦・公船・船舶の航行に関する国際法 坂巻 静佳（静岡県立大学国際関係学科 講師）
6	対領空侵犯措置と公海・EEZ 上における防空措置 石井 由梨佳（防衛大学校人文社会学群国際関係学科 講師）
7	全体討議（南シナ海問題についての講義後、受講生によるディスカッション） 小谷 哲男（日本国際問題研究所 主任研究員） 鶴田 順（海上保安大学校・政策研究大学院大学 准教授） 中島 啓（神戸大学大学院法学研究科 学術研究員）
8	総括 菊池 努（青山学院大学国際政治経済学部 教授/日本国際問題研究所 客員研究員） 中谷 和弘（東京大学大学院法学政治学研究科 教授）